

第59回日本電気泳動学会シンポジウム

電気泳動とナノテクの融合 - ナノテク電気泳動のできること ～ 食の安全から深海環境に至るまで～

拝啓

この度、第59回日本電気泳動学会シンポジウムを『電気泳動とナノテクの融合 - ナノテク電気泳動のできること ～ 食の安全から深海環境に至るまで～』と題して、来る平成21年5月29日(金)に、立教大学太刀川記念館多目的ホール(東京都豊島区池袋)にて開催させていただくことになりました。

電気泳動が小型化、自動化、高精度化されることにより、医療現場や実験室を越えて、生活環境のみならず、海底や南極、深海環境に至るまで、様々な場所で活用され、多方面からわたくしたちの生命現象の解明がなされています。今回は、あまり知られていない様々な分野で研究されているナノテク最新技術も含めて、電気泳動の多方面における可能性と未来展望を探りたいと思います。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

世話人 立教大学理学部 田淵眞理

記

日時: 2009年5月29日 (金) 10:00~17:00

場所: 立教大学太刀川記念館3F 多目的ホール (東京都豊島区西池袋3-34-1)

参加費: 会員・学生・学内:無料 一般:1,000円(抄録集代として;当日受付にて)

懇親会費: 3,000円 (当日受付にてお支払いください)

申込み: 要 (ご芳名、ご所属、連絡先、ランチョンセミナー・懇親会参加希望有無を明記の上E-mail(mtabuchi@rikkyo.ac.jp田淵宛)で5/15(金)までにお申込みください)

会場案内:

交通アクセス:<http://www.rikkyo.ac.jp/access/>

池袋キャンパスアクセス:<http://www.rikkyo.ac.jp/access/pmap/ikebukuro.html>

キャンパスマップ:<http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/campus.html>

企業広告等の申込み:

広告・企業展示・協賛も募集しています。

お問合せはE-mail mtabuchi@rikkyo.ac.jp



【プログラム】

- 10:00 開会の挨拶
電気泳動の発展
～ ナノテクノロジーとの出会い～
東京大学大学院工学系研究科 志村 清仁
- 溶液中のDNA凝縮の転移挙動を見る**
～ 顕微電気泳動から遺伝子発現まで～
東京大学マテリアル工学科 山崎 裕一
- 生活における電気泳動の利用**
～ 生活ストレスから環境計測まで～
産業技術総合研究所 脇田 慎一
- 12:00～13:30 休憩 / ランチョンセミナー
- 13:30～ **全自動マイクロチップ電気泳動装置による高速簡便かつ安価な分析の実現**
～ 新しい高速電気泳動プラットフォームにより、どのような価値を提案できるのか？ その応用事例の紹介～
(株)島津製作所 分析計測事業部 中村 伸
- 南極氷床の発達とその課題**
～ 未来の地球環境を考える～
立教大学理学部 <教育講演>
- 深海・湖沼・南極氷床下の極限環境生物解析における電気泳動の利用**
～ シゾンゲノムの完全解読からわかること～
立教大学極限生命情報研究センター 黒岩 常祥
- 海洋探索における最新ナノテク電気泳動の利用と展望**
～ 深海フィールド型遺伝子解析装置の開発にみる～
東京大学生産技術研究所 藤井 輝夫
- 16:40～17:00 **総合討論**
17:00 閉会の挨拶
- 17:30～ 懇親会 (立教大学内 藤だな)

